



- ◇よい子ネット yoiko-net.jp
- ◇ホームページ http://rurihoiku.ruri-t.jp
- ◇facebook "瑠璃よこはまこども園"で検索
- ◇TEL 079-271-4580

様々な色の葉が舞い落ち、秋も深まる頃となりました。今月は身近な自然に触れる楽しさをより感じられる月にしたいと思っています。また朝夕が急に冷え込むようになりました。寒くなると厚着をしがちですが、無理のない範囲での薄着で体温調節能力を高めて、元気に過ごしましょう。

月	火	水	木	金	土
2 お琴(4・5歳児) 9:30~	3 文化の日	4 乳幼児子育て応援事業	5	6 ◎布団持ち帰り	7 瑠璃こども園との共同保育 2,3号認定希望保育 (瑠璃よこはまこども園で実施)
9	10	11 茶道(5歳児) 9:45~ 乳幼児子育て応援事業	12	13 ◎布団持ち帰り	14
16 お琴(4・5歳児) 9:30~ 諸費袋配布	17 ★園外保育(3~5歳児)	18 乳幼児子育て応援事業	19 ★園外保育(0~2歳児)	20 ◎布団持ち帰り	21
23 ★勤労感謝の日	24	25 乳幼児子育て応援事業	26 誕生会 10:00~	27 避難訓練 ◎布団持ち帰り	28
30 お琴(4・5歳児) 9:30~	※身体測定は第3週目に行います。 ※★は下記に詳細を記載しています。		<div data-bbox="1302 1243 1520 1284" data-label="Section-Header"><h3>★勤労感謝の日</h3></div> <div data-bbox="994 1289 1841 1564" data-label="Text"> <p>勤労感謝の日は、毎年11月23日と制定されており、「働くことを大事にしながら、それにより生まれるものに感謝をする」という意味があります。子どもたちには、いつも周りで働く人たちに「ありがとう」の気持ちをもつことを忘れないでいてほしいと思います。いつも家族のために働いている、お父さん・お母さんに子どもたちから感謝の気持ちを込めて、プレゼントを用意しますので楽しみにしててくださいね。</p> </div>		

### ★園外保育

公園の落ち葉が赤や黄、オレンジへと姿を変え、お散歩が一段と楽しい季節になりました。今年度は17日に垣内公園(3~5歳児)へ秋の遠足に行きたいと思います。全学年この日は給食がありませんので必ずおかず入りのお弁当を持参してください。

0~2歳児につきましては19日に近くの公園にお散歩に行く予定を立てています。詳しくは後日配布します手紙をご覧ください。

### 12月の予定

- 15日 クリスマス会
- 17日 誕生会
- 18日 もちつき  
(デモンストレーションのみ)
- 23日 2学期終業式
- 24~28日 冬休み希望保育
- 29日~1月2日 冬休み

### 食欲の秋

秋といえばやはり食欲の秋ですね!子どもたちもおいしいものが大好き!いろいろな食べ物を製作したり、園の畑には今、秋じゃがを植えて育てています。旬のものをたくさん食べ、寒さに負けず元気に過ごしていきたいですね!



ピザやお寿司、ドーナツも作っているよ!

### 椿組に聞いた、食べたいジャガイモ料理ランキング!!

- 1位 カレー
- 2位 フライドポテト
- 3位 シチュー  
ジャーマンポテト

他にはこんな意見も・・・  
ポテトチップス、じゃがバター などがりました。

社会福祉法82条の規定により、苦情解決窓口 令和2年度10月の苦情、要望は1件でした。

### 家庭連絡

・10月19日(月)より、新しい先生が入りました。池田美幸先生と、梶浦千枝子先生です。保育補助でいろんなクラスに入ります。よろしくお願いします。

・寒くなってきたので、0~3歳児クラスは、掛け布団を持ってきてください。

・送迎の際、門を開けたままにされることが度々見られます。園児の安全の為に、必ず閉めていただきますよう、よろしくお願い致します。

・令和3年度、2・3号認定新規(継続・兄弟児除く)4月入園一次受付は、11月2日(月)~30日(月)です。受付場所は、姫路市役所2階こども保育課窓口、もしくは11月9日(月)網干市民センターで行います。もしお知り合いの方で、初めて入園される方がおられましたらお知らせください。

### 食育コーナー

1階遊戯室前に食育コーナーを設けました。今回は魚クイズや魚の食べ方を紹介していますのでおうちの方も是非ご覧くださいね。また、11月24日は「和食の日」です。日本の秋は「実り」の季節であり、「自然」に感謝し、来年の五穀豊穡を祈る行事が全国各地で盛んにおこなわれる季節でもあります。日本の食文化にとって重要な時期である秋の日に、一人一人が「和食」文化について認識を深め、大切さを再認識するきっかけの日になるといえますね。

